

リモート講演会開催案内

主催： 北海道養液栽培研究会
北海道次世代施設園芸地域展開コンソーシアム

北海道養液栽培研究会ではインターネット（Zoom）を活用して、リアルタイムで視聴し、講師に質問ができるリモート講演会を開催いたします。第一日目は『北海道施設園芸高度化フォーラム』として、第二日目は『冬季講座 2022』としての開催です。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ「施設園芸におけるスマート農業の取組」

日時： 令和4年2月17・18日（木・金）

参加費： 無料（どなたでも参加でき、定員はありません 事前申込みが必要です）

申込み： 次の方法で1月31日（月）までに申し込みください

北海道養液栽培研究会ホームページ（<http://h-greenhouse.com>）申込みフォームから

※資料をご希望の方はその旨を申込みフォームに記載願います

講演内容：（演題・講演者は変更になる場合があります）

【第一日目 2月17日（木）10時から15時まで（先進事例中心のご講演です）】

1. ホクレンのういず One 栽培に関わる取組

ホクレン資材事業本部 施設資材部資材課 課長補佐 藤原 秀作氏

2. 上川地域におけるトマトういず One 栽培の普及状況と課題

上川農業改良普及センター 地域第三係長 田下 浩二氏

3. 南幌町におけるピーマンのういず One 栽培（仮題）

南幌町農業協同組合 JA グリーンセンター技師 長船 健雄氏

4. 北斗市におけるういず One の取組

JA 新函館 青果物連合会 トマト部会長 北海道指導農業士 岡村 栄士氏

【第二日目 2月18日（金）10時から15時まで（サブテーマはモニタリングと環境制御です）】

1. 岩手県における環境制御の先進事例

岩手県農業研究センター 園芸技術研究部野菜研究室 小田島 裕氏

2. 太陽光利用 環境制御温室によるトマト周年栽培

株式会社寅福 代表取締役 加藤 夢人氏

3. 北海道内における施設園芸モニタリング取組み現地事例

合同会社アグリセンシング 吉田 正巳氏

4. 北海道内の夏秋いちご養液栽培×センシング利活用事例

NTT 東日本北海道事業部ビジネスイノベーション部 CR グループ

地方創生 PT 主査 石垣 智之氏

問合せ先： 酪農学園大学農食環境学群循環農学類園芸研究室 准教授 森 志郎

（北海道養液栽培研究会 運営委員 総務担当）電話/FAX 011-388-4858

北海道農政部生産振興局農産振興課 野菜係長 谷 公平

（北海道次世代施設園芸地域展開コンソーシアム事務局）電話/FAX 011-204-5436